



役員・マネージャー層を対象としたマネージメント研修に森林浴や間伐体験等を導入

役員・マネージャー層のチームビルディングを目的に、山村地域での研修合宿を実施し、森林の中で共同作業を行うアクティビティプログラム等や会社の課題に関するディスカッションを実施。



導入の経緯と決め手

中途採用者のみの組織で一体感の醸成が必要と感じていた中、（一社）森と未来から小菅村を紹介されたことがきっかけに、上場準備を進めているタイミングで実施。オフサイトで、自然や共同作業のアクティビティを楽しみながら、心身を一度リラックスして、一体感“仲間意識”を醸成し、個人目線ではなく、仲間と共に運営する“共同体”の目線で、課題のディスカッションを行い、皆で良い会社を作っていこうとの目的。



取組内容とその効果

<実施地域：森林サービス産業推進地域「山梨県小菅村地域」>

森林浴、間伐体験、フォレストアドベンチャー®、焚き火といった自然の中で共同作業を行うアクティビティプログラム等と、会社の課題に関するディスカッションを実施。

ディスカッション時に闊達な意見交換や本音のコミュニケーションができたことにより相互理解が深まったり、心理的安全性が高まったことで、一体感が醸成された。

波及効果として、「キャンプ部」が新設され、今では最大規模の部活。



従業員の声

普段のオフィスとは異なり、自然の中だったからこそ、同僚の違う一面に気付く感覚が生まれたような気がします。また、自分では、自然に囲まれた場所に行く発想がなかったので、これをきっかけに、キャンプに行くようになりました。



役割分担と参加促進に向けた取組

プログラムの構築は、コーディネーター（（一社）森と未来）が、企業の意向と地域の資源を踏まえて実施。翌年度以降も、目新しさがあるよう場所を変えて、自然豊かな場所でのアクティビティと社の課題をディスカッションを行うマネージメント研修を年一回実施している（社内の担当者がプログラム構築）。

■プログラム構築：

コーディネーターが、企業の要望を踏まえて、地域と調整しプログラムを構成

■導入形態：

参加必須の研修（宿泊）

■対象者：

役員・マネージャー層が対象

■費用負担：

企業が全額負担



目的

- チームビルディング・社内コミュニケーション強化
- 環境教育



結果（企業の声）

- 自然の中での共同作業によって、社員の相互理解や心理的安全性が高まったことで一体感が醸成された。